

商業・貿易・金融

卸売・小売業(事業所数、従業者数等)

平成28年6月1日現在の卸売業の事業所数は3,302事業所、従業者数は2万5,629人、年間商品販売額は1兆8,711億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみると、飲食料品卸売業が7,155人(構成比27.9%)で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は、1万2,922事業所、従業者数が9万3,666人、年間商品販売額は1兆9,126億円となっています。

また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が3万5,313人(構成比37.7%)で最も多くを占めています。

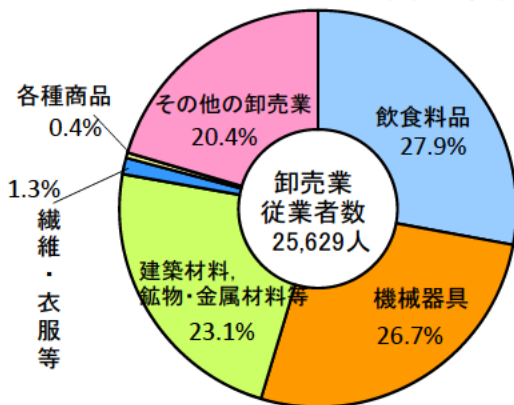
業種別年間商品販売額

平成27年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は建築材料、鉱物・金属材料等卸売業5,187億円(構成比27.7%)で最も多く、次いで機械器具卸売業5,096億円(構成比27.2%)、飲食料品卸売業4,603億円(同24.6%)と続いています。

小売業は、飲食料品小売業が5,523億円で小売業年間商品販売額の28.9%を占めており、次いで機械器具小売業4,185億円(構成比21.9%)などとなっています。

図35 卸売業の従業者数の産業分類別構成

平成28年6月1日現在



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

図37 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

平成27年

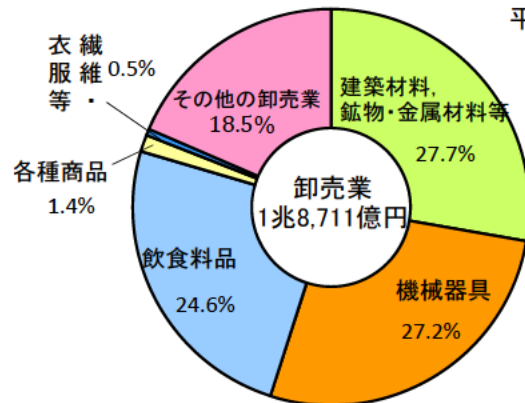
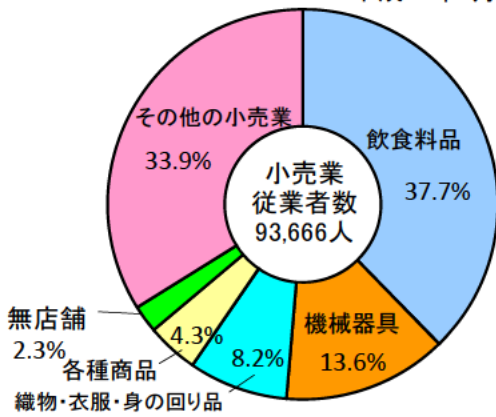


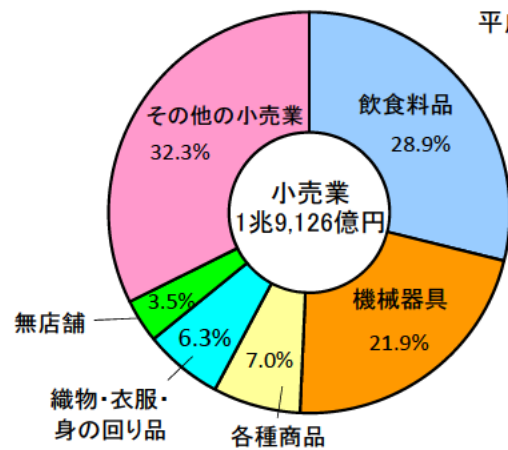
図36 小売業の従業者数の産業分類別構成

平成28年6月1日現在



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

平成27年



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

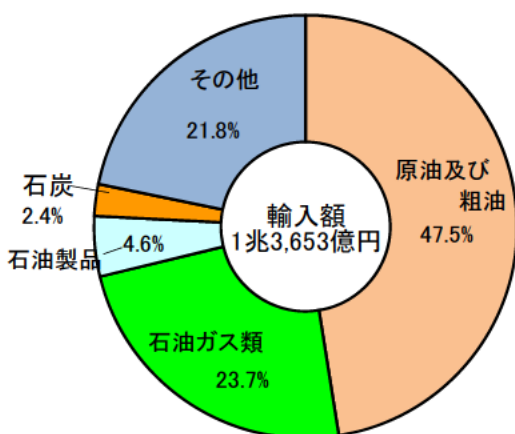
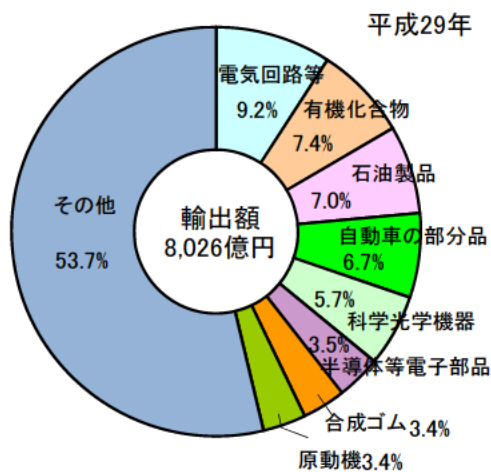
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の平成29年の貿易状況をみると、輸出額は8,026億円の前年に比べ67億円(0.8%)増加し、輸入額は1兆3,653億円の前年に比べ2,379億円(21.1%)増加しました。

品目別でみると、輸出は電気回路等の機器が735億円(構成比9.2%)で最も多く、次いで有機化合物594億円(同7.4%)、石油製品561億円(同7.0%)の順となっています。

輸入は原油及び粗油が6,482億円(構成比47.5%)で最も多く、次いで石油ガス類3,238億円(同23.7%)、石油製品629億円(同4.6%)の順となっています。

図38 四日市港の品目別貿易状況



資料 名古屋税関「貿易年表」

金融、企業倒産

平成30年3月31日現在の預貯金残高(郵便貯金を除く)は、12兆4,458億円となり、前年に比べ3,726億円(3.1%)増加しました。貸出残高は、5兆312億円となり前年に比べ627億円(1.3%)増加しました。

平成30年の企業倒産件数は67件となり、前年に比べ33件(33.0%)減少しました。負債総額は136億円となり23億円(14.3%)減少しました。

図39 預貯金・貸出残高の推移

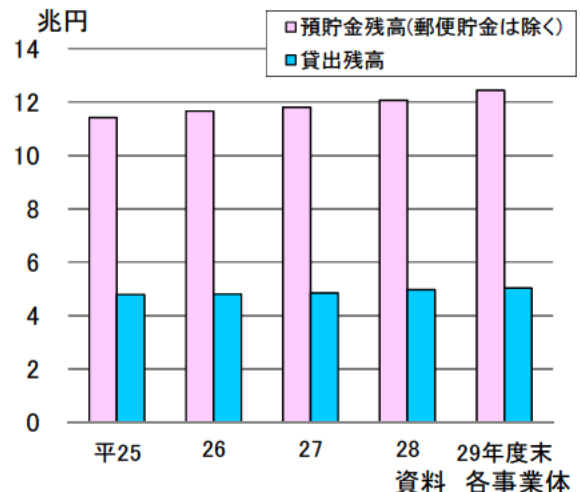
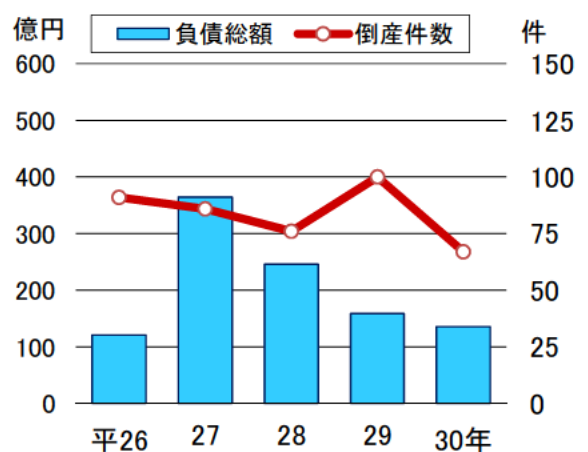


図40 企業倒産状況の推移



資料 (株)東京商工リサーチ津支店・四日市支店